

黙示録 1 章 4-6 節 スタディーガイド

★ 黙示録 1 章 4 節

ヨハネから、アジアにある七つの教会へ。今いまし、昔いまし、後に来られる方から、また、その御座の前におられる七つの御霊から、

七つの教会へ

前回、七つの教会については神学者によっていろいろと解釈が異なりますが、完全数と考えると、すべての時代のすべての教会と考えられることをお話ししました。

今いまし、昔いまし、後に来られる方から

出エジプト 3 章 14 節で、「わたしは、『わたしはある』という者である」とおっしゃる主が「今いまし、昔いまし、後に来られる方から」です。

その御座の前におられる七つの御霊から

★ イザヤ書 11 章 1 節、2 節

エッセイの根株から新芽が生え、その根から若枝が出て実を結ぶ。その上に、主の霊がとどまる。それは知恵と悟りの霊、はかりごとと能力の霊、主を知る知識と主を恐れる霊である。

エッセイの根株から……若枝が出て実を結ぶ

「エッセイの根株から……若枝が出て実を結ぶ」ということばの中で、ダビデ王の父親エッセイからの「若枝」は、ヘブライ語で「ネツェール (Netser)」と言い、イエス・キリストのことを語っています。

このエッセイは、預言の若枝の名にちなんだナツァール氏族の人です。ユダヤの地を拡大するため、ガリラヤ地方の 3 箇所に住みました。

二つはゴラン高原で、もう一つはガリラヤ西岸地方、その場所を自分たちの氏族の名にちなんでナザレと名付けました。

マタイの福音書 2 章 23 節に「これは預言者たちを通して『この方はナザレ人と呼ばれる』と言われた事が成就するためであった」とありますが、旧約聖書にメシアがナザレ人と呼ばれることは書かれていません。

このイエス様には、「七つの霊」がとどまっていました。

■ イザヤ書 11 章 2 節の「七つの霊」 ■

1. 主の霊
2. 知恵の霊
3. 悟りの霊
4. はかりごとの霊
5. 能力の霊
6. 主を知る知識の霊
7. 主を恐れる霊

★ 黙示録 1 章 5 節、6 節

また、忠実な証人、死者の中から最初によみがえられた方、地上の王たちの支配者であるイエス・キリストから、恵みと平安が、あなたがたにあるように。イエス・キリストは私たちを愛して、その血によって私たちを罪から解き放ち、また、私たちを王国とし、ご自分の父である神のために祭司としてくださった方である。

忠実な証人、死者の中から最初によみがえられた方

よみがえられるには、永遠から永遠に存在なさる立場から離れなければなりません。

どうして永遠から永遠に存在される方が、神様の御子なのでしょう。子というのは、どこかで生まれたことを示しています。エホバの証人たちは、イエス・キリストは神ではなく神の唯一の御子だと言っています。それは、永遠から永遠のお方ではなく、ある日神の子として生まれている、最初の創造として生まれた方で、イエス・キリストは初めがあるので神様ではないと言っています。

★ ヨハネの福音書 1 章 1-3 節

初めに、ことばがあった。ことばは神とともにあった。ことばは神であった。この方は、初めに神とともにおられた。すべてのものは、この方によって造られた。造られたもので、この方によらずにできたものは一つもない。

すべてのものは、この方によって造られた。

このお方は、永遠から永遠に存在なさる神様です。

主が私たちに与えてくださっている祝福

1. 愛して下さり
2. 罪から解放して下さり
3. 王国として下さり
4. 父なる神様のために、祭司としてくださいました。



黙示録 20 章 4 節

また私は、多くの座を見た。彼らはその上にすわった。そしてさばきを行う権威が彼らに与えられた。

さばきを行う権威が彼らに与えられた

私たちキリストの花嫁である教会は、主と共に裁きを行う権威が与えられます。

◆MEMO◆



OMEGA MINISTRIES
OMEGA BIBLE STUDY